

中央区の“ちょっとすごい!”を見て歩き



中央区まちかど展示館

2019 Summer
Vol.06
銀座・京橋編 Part.1
TAKE FREE

歌舞伎をはじめ多彩な文化資源の宝庫

銀座・京橋 Part.1

【特集】
歌舞伎座
ギャラリー回廊

【大好評!連載第3回】
フランス人銭湯大使の
中央区銭湯の世界へ

この地で守り続けるものを訪ねて
まちかど展示館訪問

展示館おすすめの名店揃い!
銀座・京橋エリアMAP
Part.1



Facebook公式ページ
中央区まちかど展示館

ホームページURL
<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp>

季刊誌『中央区まちかど展示館』Information

..... 既刊Vol.01~Vol.05も好評配布中!.....



Vol.01
日本橋編



Vol.02
銀座・京橋 / 月島編



Vol.03
総集編



Vol.04
月島編



Vol.05
日本橋編 Part.1

右記より
おこなっています。

■ダウンロード版
中央区まちかど展示館ウェブサイト 季刊誌ダウンロードページ
<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/book.html>

■冊子
中央区まちかど展示館運営協議会(中央区文化・生涯学習課内)
中央区築地1-1-1 中央区役所6階 TEL.03-3546-5346

*印刷物のVol.01~Vol.05は残りわずかとなっております。なくなり次第配布は終了させていただきます。

次号Vol.07は
日本橋編です。
江戸文化を今に伝える各展示館を
訪問します。お楽しみに!

◎発行日: 2019年7月4日

◎発行: 中央区まちかど展示館運営協議会(中央区区民部文化・生涯学習課内) tel: 03-3546-5346 mail: b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp

◎制作: Asaba & Co ◎デザイン: CAN DO CREATION ◎撮影: kt-design ◎文: 秋元祐子 ◎イラスト: 堀口珠美

POST CARD

1 0 4 - 8 4 0 4

恐れ入りますが
62円切手を
貼って
お出しください。

中央区築地1-1-1 中央区役所6階(文化・生涯学習課内)
中央区まちかど展示館運営協議会
中央区まちかど展示館アンケート 係行

差し支えない範囲でご記入ください。
お答えいただいた個人情報、本紙アンケートの目的のみに使用されるもので、その他に使用することはありません。

◎ご住所 〒

◎お名前

◎電話

◎職業

◎性別 男・女

◎年齢

5階ではひと休みもOK!

屋上庭園

① 10:00～19:00(荒天時閉鎖)

歌舞伎座の客席部分の上に広がる和風庭園は、銀座の隠れた癒スポット。春のしだれ桜、秋の紅葉とさまざまな植物が1年を通じて目を楽しませます。



歌舞伎作者黙阿弥の屋敷にあった燈籠とつくばい。



第4期歌舞伎座で使われた瓦があちこちに!

五右衛門階段

① 10:00～19:00 絶景かな!!



階段から見える軒瓦に1つだけ頭が逆向きの「逆さ風風」が…建築時に棟梁の一存で決められたというこの場所、見つけたときせになれるとか?

寿月堂 銀座 歌舞伎座店

① 平日/10:00～18:00、
土日祝/10:00～18:30

日本茶カフェとお茶の専門店。第5期歌舞伎座を設計した隈研吾氏の手による趣深い空間で、屋上庭園を眺めながらゆったりとお茶やお菓子、軽食を楽しめます。



ほうじ茶付きの抹茶パフェのほかオリジナルメニューも魅力的。



フィナンシェは抹茶の濃厚な風味が◎。



4階も充実!お見逃しなく!

四階回廊 ① 10:00～19:00

4階の廊下に沿って、絨毯の織り見本や歌舞伎俳優の写真、第1期～第4期の歌舞伎座の模型がズラリと並びます。懐かしい歌舞伎座の思い出を楽しめる空間です。



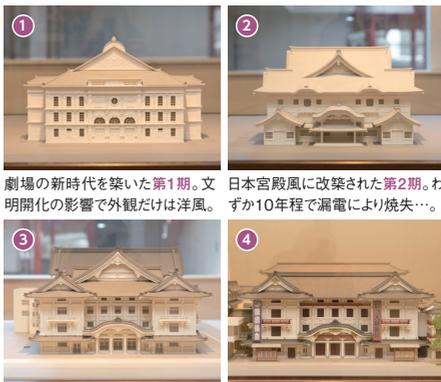
帰りには4階エレベーター前のステンドグラスも鑑賞したい。



第5期の劇場ロビーでは、第4期のオープン時に使われた幻の絵柄を再現。

歴代歌舞伎座を比べてみよう!

P9では写真でご紹介!あわせてご覧ください。



① 劇場の新時代を築いた第1期。文明開化の影響で外観だけは洋風。
② 日本宮殿風に改築された第2期。わずか10年程で漏電により焼失…。
③ 関東大震災を挟んで再建した第3期。歌舞伎の黄金時代へ!
④ 空襲後、第4期は物資の乏しい中で建設。第3期と同じ寸法です。

歌舞伎座限定の集印帳が素敵。歌舞伎座正面の右にある歌舞伎稲荷大明神のご朱印はこちらで。

まずは5階ギャラリー回廊へ

歌舞伎座の背部にそびえ建つ「歌舞伎座タワー」には、一味違う見どころと学べるトリビアが満載なんです!

地下2階の木挽町広場奥または1階昭和通り側入口からエレベーターで5階へ。

歌舞伎座ギャラリー

① 10:00～17:30(最終入館17:00)

有料の歌舞伎座ギャラリーは、実際に舞台や舞台裏で使用される小道具・大道具を見たり触れたりできる体感型スペース。歌舞伎公演を3分間見学できるコースやイヤホンガイド付きコースもあります。



かぶりねこやたぬしがまじりてん!



芝居に出てくる舟や駕籠に実際に乗ってみることができます。※展示内容は入れ替わることがあります。



花道もある小さな舞台では役者のトークショーを行うことも。



黒御簾の中では楽器の音が出せませう。



迫力の隈取一覽で違いを納得!

お土産処 楽座

① 10:00～18:00

前月に興行された舞台写真が買えるのはここだけ!役者グッズのほか歌舞伎の書籍やDVDも充実。歌舞伎座のお土産の穴場ショップです。



歌舞伎座限定の集印帳が素敵。歌舞伎座正面の右にある歌舞伎稲荷大明神のご朱印はこちらで。



第5期(平成25年開場) ……………

- ① 東京都中央区銀座4-12-15
- ② 防災センター 03-3545-4300
- ③ 不定休(休日はお問い合わせください)
- ④ A 東銀座駅3番出口すぐ
- ⑤ B 銀座駅A7番出口 徒歩5分
- ⑥ <https://www.kabuki-za.co.jp>



初心者にも通にもオススメ!歌舞伎座ギャラリー回廊を大公開!
もう一つの”歌舞伎座“を遊びたい!

足袋の博物館

歌舞伎役者の足袋へのこだわりとは？
手作業で足袋を作り続ける大野屋總本店の技。



大正末期に建てられ、戦禍を免れた木造建築は国登録有形文化財。関東大震災後に撮られた貴重な写真には、現在の建物と4代目、5代目の姿が。配達にいち早く使っていたオートバイも。



5代目福太郎さんと奥様の写真が店内に。新橋芸者の大スター、まり千代さんもお得意様でした。



5代目が作った都々逸(どどいつ)は当時のキャッチフレーズ。



小さな「福足袋」は小銭や宝くじを入れておく縁起物“おあしが入る”として人気です。ガーゼのハンカチ等は外国の方にも好評。



お話を伺った方
代表取締役
福島 茂雄さん

客席の目線で
目立つ足袋に、
役者さんほどても
ごたわるんですよ。

機械好きの5代
目が輸入した古
いミシンが今も
現役で活躍中！



型紙に合わせて、切れ味抜群の裁断機
で20枚の生地を一度にカット。



歌舞伎で使われる柄足袋の数々。新富形の足袋は、足が細くきれいに見えるると歌舞伎役者の定番になりました。



歌舞伎の「助六」で使われる黄色い足袋。足首を覆う部分が浅いこの形が粋とのこと。



歌舞伎の色足袋は舞台映える色が多いとか。旅立ちの場面では、紐を結んで履く紐足袋が登場します。



大野屋總本店の足袋は今も2階の作業場で手作り。



歌舞伎用の足袋とは？

うちは幕末の1849年に三田からここに移って来たのですが、近くには明治5年に新富座、22年に歌舞伎座ができました。その頃からうちの新富形の足袋が歌舞伎役者さんに好評で今も多くの方が使ってくださいます。足型から取るオーダーメイドで、時には劇場へ出向いて型を取り直すこともあります。こはぜ(留め具)の掛け糸を増やしたり生地の色から特注する役者さんもいます。また能や狂言の足袋も作っていますが、正座が多い役や力強く踊る役など役柄によって形を変えたり。素材は通常キヤラコですが、能楽師の方は伸縮性のある燃表(よりあもて)で裏と底にはネル布地を好む方が多いですね。

—他にどんな足袋がありますか？—
一般の足袋もあります。お茶や踊りをする方もご利用くださいます。既製品も揃えています。お茶や踊り、布地や跳えなら型紙から作り、布地やこはぜの数を選ぶこともできます。茶道で右足が擦れやすいと右足のみを多く作る方もいらっしやいます。

—独自の「新富形」を考案したのは？—
5代目の祖父が新富形を作り、ドイツから靴用ミシンを輸入し改造して使い始めました。大正時代に一般の人が既製品を履くようになり、その頃一番生産量が多かったようです。私は7代目ですが、これからも足袋にこだわる方にしっかり応えていきたいです。



足袋の博物館

管理者:有限会社大野屋總本店(平成23年度認定)

📍 東京都中央区新富2-2-1 📞 03-3551-0896

🕒 月～金曜日(祝日・年末年始等を除く)

🕒 9:00～17:00

🚶 新富町駅2番出口 徒歩1分

🌐 <https://www.onoyasohonten.jp/>

ミズノプリンティングミュージアム

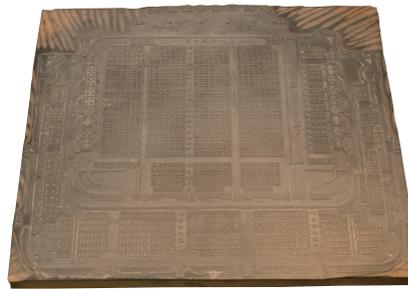
日本印刷文化の中心地で印刷の奥深さを知る。
築地鉄砲洲にあった居留地の資料にも注目！



歌川広重「名所江戸百景」の1枚「鉄砲洲築地門跡」はオリジナルの浮世絵を展示。築地門跡とは築地本願寺のこと。



歌川国輝「東京築地鉄砲洲景」(明治2年)築地居留地周辺を描いた6枚続きの錦絵には、築地ホテル館、各国領事館のほか左端には新島原遊廓が描かれています。



歌舞伎も行われる新橋演舞場の座席図の活版も保存しています。戦後に建てられた第2期の建物のもの。



写楽の役者絵「二代目市川高麗蔵の志賀大七」のほか、高度な印刷技術で慶應義塾の所蔵する浮世絵を復刻した収蔵品。



「東京府築地鉄砲洲居留地中絵図」二代目歌川国輝が描いた居留地。日の丸が立つのは運上所(税関)です。



東京築地活版製造所製の平野富二ハンドプレスは、現存する最古の国産印刷機として「機械遺産」に選定されています。

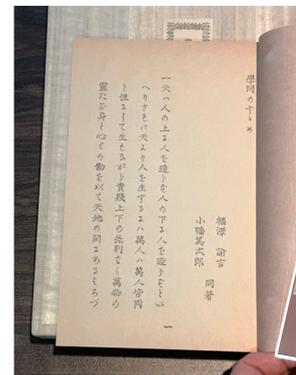


お話を伺った方
館長
水野 雅生さん

私は築地居留地研究会というNPO:法人の理事長も務めています。



国内外の貴重な印刷機、歴史的な印刷物などが多数並びます。NHK大河ドラマ『いだてん』にも小道具として古い機械を貸し出したそう。



『學問のすゝめ』は後に17編まで合わせて340万部が読まれた大ベストセラー。当館では初版の復刻版を手にとって読むことができます。



！特におすすめの展示品は？

現在日本で10部しか確認されていない福澤諭吉『學問のすゝめ』の初版本を収蔵しています。洋紙に両面刷りをした日本の近代印刷の先駆けです。これを当社の創業90周年に復刻したのですが、紙も印刷もオリジナルに忠実に再現しました。復刻版は国立国会図書館や慶應義塾大学、大分県中津市の福澤記念館にも進呈し、大変喜ばれました。ほかにも当社の高精細印刷技術を使って世界の価値ある書物を復刻していますので、それらもぜひ見て欲しいですね。

— 中央区ならではの所蔵品は？

この辺は明治から印刷会社が多く、新橋演舞場の活版等、貴重な品を譲り受けました。江戸時代の版画も多く所蔵しています。また現在の明石町にあった居留地の資料も収集しています。築地は全国7カ所の外国人居留地で最後、明治元年に開設され、外国の商人や

船乗りが来ると予想されていたのですが、商社はすでに横浜居留地にいたため主に宣教師や外交官が来たんですね。彼らが教育に力を入れたおかげでここから誕生した学校は13校もあります。日本初の本格ホテル、築地ホテル館もできましたが銀座大火で明治5年に焼失しました。新富町には外国人目当てに新島原遊廓が置かれたのですが、宣教師や外交官が利用しないので(笑)2年程で廃止になってしまったんですよ。



ミズノプリンティングミュージアム

管理者:ミズノプリテック株式会社(平成23年度認定)
 ● 東京都中央区入船2-9-2 ☎ 03-3551-7595
 ● 月~金曜日(祝日・年末年始等を除く) ☎ 10:00~16:00
 ※訪れる際には事前の予約が必要です
 ● 新富町駅5番出口 徒歩5分、
 ● JR八丁堀駅A2番出口 徒歩5分
 ● <http://www.mizunopritech.co.jp/>

松竹大谷図書館

48万点の資料を誇る演劇と映画の専門図書館。
お気に入りの演目の筋書を探してみたい。



明治～昭和初期に上演された歌舞伎の筋書や絵本番付(絵本役割)。活版印刷が広まった明治末期に昔ながらの木版刷りも使っているのも興味深い点。



(上)歌舞伎十八番の1つ「鎌髭(かまひげ)」が明治43年に復活上演された時の筋書と絵本番付。大変貴重な資料です。
(左)劇場で販売されたお土産用のプロマイド。鼻扇の役者を探してみては?



歌舞伎座で上演された現代の新作歌舞伎の台本も所蔵しています。



1 明治22年に開場した第1期歌舞伎座。外観は洋風、内部は日本風の檜造りだったそう。
2 明治44年、純日本式に改築された第2期歌舞伎座。大正3年から松竹が興行一切を受け持つようになりました。
3 第2期を焼失後、再建中に関東大震災に遭い、大正13年に完成した第3期歌舞伎座。昭和26年に再建し、建替えのため平成22年で休館しました。
4 残った基礎や屋根の一部を活用した第4期歌舞伎座。第3期のデザインを再現して昭和26年に再建し、建替えのため平成22年で休館しました。



近年クラウドファンディングによって組上燈籠絵のデジタル保存と複製版の商品化を実現しました。当時の人の遊びを手軽に体感できるので、まち歩きの記事にもおすすめです。



明治時代の組上燈籠絵や江戸時代の浄瑠璃正本をアレンジしたブックカバーも販売しています。



10年前に歌舞伎座で買ったお芝居...などの記憶から筋書をお貸しすることもありますよ。

お話を伺った方
主任司書
武藤 祥子さん

『男はつらいよ』第1作目の台本各種。シナリオの勉強をする人が各稿を比べて研究することもあるそう。第50作目は今年12月公開予定!

松竹大谷図書館
管理者:公益財団法人松竹大谷図書館(平成25年度認定)
● 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3F
☎ 03-5550-1694 ☎ 月～金曜日(祝日・年末年始・毎月最終木曜日等を除く) ① 10:00～17:00
● 東銀座駅5番出口 徒歩3分
● 新富町駅1番出口 徒歩8分
🌐 <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

— 歌舞伎の所蔵資料には何が? —
当館では歌舞伎の台本や劇場プログラムである筋書を多く所蔵しています。特に戦後の第4期から現在の第5期歌舞伎座で行われた本興行のプログラムはすべて揃っています。また明治頃まであった、各場面の絵と配役が載っている「絵本番付」という冊子もあります。昔の俳優のプロマイドや大道具の記録用に撮った写真など、書籍以外の資料も揃っているんですよ。珍しいものでは「組上燈籠絵」という江戸から昭和初期まで流行した錦絵、今というペーパークラフトが多数あり、これはデジタル化して公開しています。

— 松竹といえば映画もありますね —
おなじみの『男はつらいよ』は、50周年を迎えた今年、第50作目の新作を公開予定ですが、当館には過去49作の台本があり、各稿が揃っている作品もあります。何回か台本を書き直すことがあるんですね。準備稿、改訂稿と稿を重ねていき、最後には完成した映画から採録した「完成台本」を作ります。サウンドやフィルム巻の巻数、画面に流れるクレジットのような文字もすべて記録されているので、今見ることが難しい作品を調査することもできます。俳優さんの名前から検索して古い台本と写真をセットで楽しまれる方もいらつしゃいますよ。あいまいな記憶や断片からお調べしますので、お気軽に私たちに相談してくださいね!

のれん・提灯・下絵の展示館

町人文化が育んだ文字を今も手書きで。江戸文字を追求し続ける店主の想いに触れる。



加藤さんは繪びらの文化を残そうと「繪びら 昭和・築地「繪びらの意匠」という書籍を自費出版。この本は店頭で見ることができます。



嘉言のセンスも書く人次第です。「うちには祖父が残した虎の巻があるからね(笑)」と加藤木さん。



こちらは展示用として、50年ほど前の繪びらに加藤さんが文字を書いたもの。「大漁は天下の寶生み出せ利」といったおめでたい文句は嘉言(かげん)と呼ばれます。



昭和初期の築地にて、繪びらが並ぶ開店の様子。(「繪びら」より)



ふぐ、鯉、伊勢海老、鯉など、縁起の良い魚の絵が多く残るのは津多屋さんならではの。お店に残る繪びらのストックを記録し、すべて加藤木さん自らが調べて解説を書きました。



千社額やのれん、半纏、提灯などが並ぶ店内。さまざまな江戸文字をじっくり見るのも楽しい。

昔は祖父が書く繪びらを乾かす手伝いもしたよ。古いものはやはり絵がいのね!

お話を伺った方
代表取締役
加藤木 大介さん

日本の伝統色で染めたのれん生地や巾着やバッグはすべて1点もの。ボックスタイプも可愛いオリジナルシールやポチ袋は密かな人気アイテム。



加藤木さんは江戸文字の歴史や分類を研究し「江戸文字を体験しよう」という体験講習会も開いています。



半纏の背中でよく見る牡丹の花のような牡丹文字。1点1点手書きでデザインしています。築地で長年使われる「魚がし」はヒゲ文字。「可」を崩した変体仮名に「が」を付けて「か」と読みます。



材を組んでずらりと貼り賑やかにするんですね。これは関東だけの風習らしく、雨が降れば終わりで当時のものはほとんど残っていないようです。絵は絵師が描き、字は提灯屋や旗屋が書くんですが、うちは祖父の代からの家業なので、その頃のいい絵がある程度残っています。でも私の知る限り今は絵師さんがいないんですよ。昭和30年代までにはこんな庶民文化があったことを知って欲しいですね。

「江戸文字とはどんなもの?」
— 江戸時代に来た文字全体を指します。諸説ありますが、徳川家康が公文書に使う文字を御家流に統一したことで、それが芝居小屋等の看板や幟旗などに応用され、だんだん太くなって江戸文字が生まれました。さまざまな文字が派生する中で、歌舞伎の勘亭流や相撲の根岸流などは業界専用として書く人が決まりました。それに対して提灯や半纏、店の看板等に使われたのが狭い意味での江戸文字ですね。うちのような家業の人が書いて日用品の印にした庶民の文字なんです。ヒゲ文字、牡丹文字、角字などいろいろな書体がありますよ。
— 繪びらについて教えてください
「繪びら」とは今でいうポスターで基本、手描きの一点物です。昭和初期には開店日や芝居の初日等に、絵も文字もすべて肉筆の繪びらを贈る文化がありました。木



のれん・提灯・下絵の展示館

管理者:有限会社津多屋商店(平成24年度認定)
 ● 東京都中央区築地6-5-5 ☎ 03-3541-3741
 ○ 月~土曜日(祝日・年末年始・市場休業日等を除く)
 ⌚ 7:30~17:30
 📍 築地駅1番出口 徒歩5分
 📍 築地市場駅A1番出口 徒歩10分
 🌐 <http://www.noren-tsutaya.com/>

ぶらりまち歩きに出掛けよう

銀座・京橋エリア 散策MAP

さまざまな文化が集うこのエリアには
路地を一步入るとこだわり店主のお店が…。
新しいお気に入りを探してみましょう。

01 ビストロ ル ケイ

>> P14

オーナーシェフが仏修業中に夢で見て命名したというお店。食で体を整えて欲しいと用意された山盛りサラダのランチなど、美味しく自由なフレンチにファンが続出中!



02 喜多福

>> P14

ご近所の方はもちろんまち歩きの人にも来店するというお洒落な漬物屋さん。伝統の味醂奈良漬のほか、季節の野菜をお店で漬け込んだお漬物は世代を問わず人気です。



03 天まめ

>> P14

ローカロリーで健康にいい“罪悪感のないスイーツ”が口コミでも評判の甘味店。天草を煮出すことから手作りの寒天はじめ、あんこや煮豆、黒蜜もすべて自家製です。



のれん・提灯・
下絵の展示館
>> P10



ミズノプリンティング
ミュージアム
>> P6



足袋の博物館
>> P4



04 幸軒(さいわいけん)

>> P15

ランチタイムは近隣のサラリーマンが続々とやってくる町の中華屋さん。「うちは大衆食堂という感じ」と笑う女性店主が先代からの味を守り、地元のお得意様に愛され続けているお店です。



03 天まめ



松竹大谷図書館
>> P8



07 ツキジキッチン

07 tsukiji kitchen

>> P15

ゆったりした店内につい長居したくなる、東銀座の隠れ家的な洋食レストラン。定番の洋食メニューのほか、シェフ自ら築地や豊洲で食材を選んだ日替わりのおすすめメニューもぜひチェックしたい。



06 BONGEN COFFEE

06 BONGEN COFFEE

>> P15

盆栽を愛するマスターがお気に入りを集めて作り上げたコーヒースタンド。ギャラリー風和モダンの空間に、時を重ねた盆栽が独特の存在感を放ちます。ベンチで盆栽を眺めながら贅沢なひと休みを。



05 ベンクラスター

05 ベンクラスター

>> P15

ケースに並ぶ希少な万年筆はまるで宝石のような美しさ。海外でヴィンテージ万年筆を買い付け、一本一本丁寧に調整後販売する万年筆専門店です。今の時代こそ一度は訪れてみたいもの。



おすすめスポット

まちかど展示館の前後に立ち寄りたい
展示館のイチョンのお店をご紹介します。
まち歩きがもっと楽しくなりそう♪



6
4



2
3



7
5



1



7

松竹大谷図書館
武藤さんおすすめ

ドリンク付きのランチやお弁当がリピーターに人気
看板メニューの煮込みハンバーグはナイフを入れるとチーズがとろ〜り。日替わりや淡路島の生パスタ、オムレツ等が選べるランチタイムは、常連さんですぐ席がいっぱいに。落ち着いた店内では貸切パーティもOK。

tsukiji kitchen
◎住所 / 中央区築地4-1-1 東劇ビルB1F
◎TEL / 03-5550-1385
◎営業時間 / 平日10:00~23:00 (LO22:00)、14:00~18:00はカフェのみ
◎土・日・祝定休

6

中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

盆栽とコーヒーが楽しめる至福の空間「盆源珈琲」
マスターがコレクションしている盆栽と好きなコーヒーで元気の源を提供したいとオープン。家具やメニューの細部までオリジナルで作り上げた、上質でほっと癒されるお店です。豆の販売やオリジナル甘味も嬉しい。

BONGEN COFFEE
◎住所 / 中央区銀座2-16-3
◎TEL / 03-6264-3988
◎営業時間 / 10:00~19:00
◎無休

5

中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

オリジナル万年筆も制作
万年筆文化を守る貴重な店
車メーカーにいた店主は専門だったアルミ素材で万年筆を作ってみたくこの世界へ。今や古い万年筆の輸入販売に加え、オリジナル商品も作る数少ない万年筆のプロに。持ち込みで修理の相談にも応じてくれます。

ペンクラスター
◎住所 / 中央区銀座1-20-3 ウィンド銀座IIビル3F
◎TEL / 03-3564-6331
◎営業時間 / 原則12:30~18:00
◎不定休 (HPでご確認ください)
◎HP / <http://pencluster.com/>

4

のれん・提灯・下絵の展示館
加藤木さんおすすめ

地元で愛され続ける昔懐かしい支那そばの味
築地で屋台商売をしていた先々が昭和2年に開業。懐かしさと温かさを感じるシンプルな味が長く愛され、常連さんは週2日限定の夜の営業を楽しみにしているそう。チャーシュー麺や定食のほかカツ丼も隠れた人気です。

幸軒(さいわいけん)
◎住所 / 中央区築地6-6-3
◎TEL / 03-3541-0447
◎営業時間 / 平日11:00~14:15 (LO) 水・金のみ17:00~19:00
◎不定休 (HPでご確認ください)
◎土・日・祝定休

3

中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

山盛りの「生寒天」で切りたての食感を堪能!
神津島産の最高級の寒天を使い、栄養士でもある女性店主が早朝から手作りする寒天は、プリッとした弾力に磯の香りが漂います。程よい甘さのあんこやお豆の組み合わせも絶妙。テイクアウトはお土産にもおすすめです。

たまめ
◎住所 / 中央区築地2-8-1 築地永谷タウンプラザ107
◎TEL / 03-6264-0782
◎営業時間 / 7:00~19:00 (なくなり次第終了)
◎日定休

2

ミズノプリンティングミュージアム
水野さんおすすめ

もう一品に嬉しい旬の漬物
夏は水茄子や白瓜が人気
季節の野菜の浅漬けやピクルスは種類も豊富。明治期から伝わる独特の手法で2年かけて店頭に並ぶ味醂奈良漬は、関東風のコクとまろやかさが魅力です。クリームチーズとの奈良漬のディップはワインにぴったり。

喜多福
◎住所 / 中央区湊2-14-4
◎TEL / 03-3551-3566
◎営業時間 / 9:00~18:30
◎無休

1

足袋の博物館
福島さんおすすめ

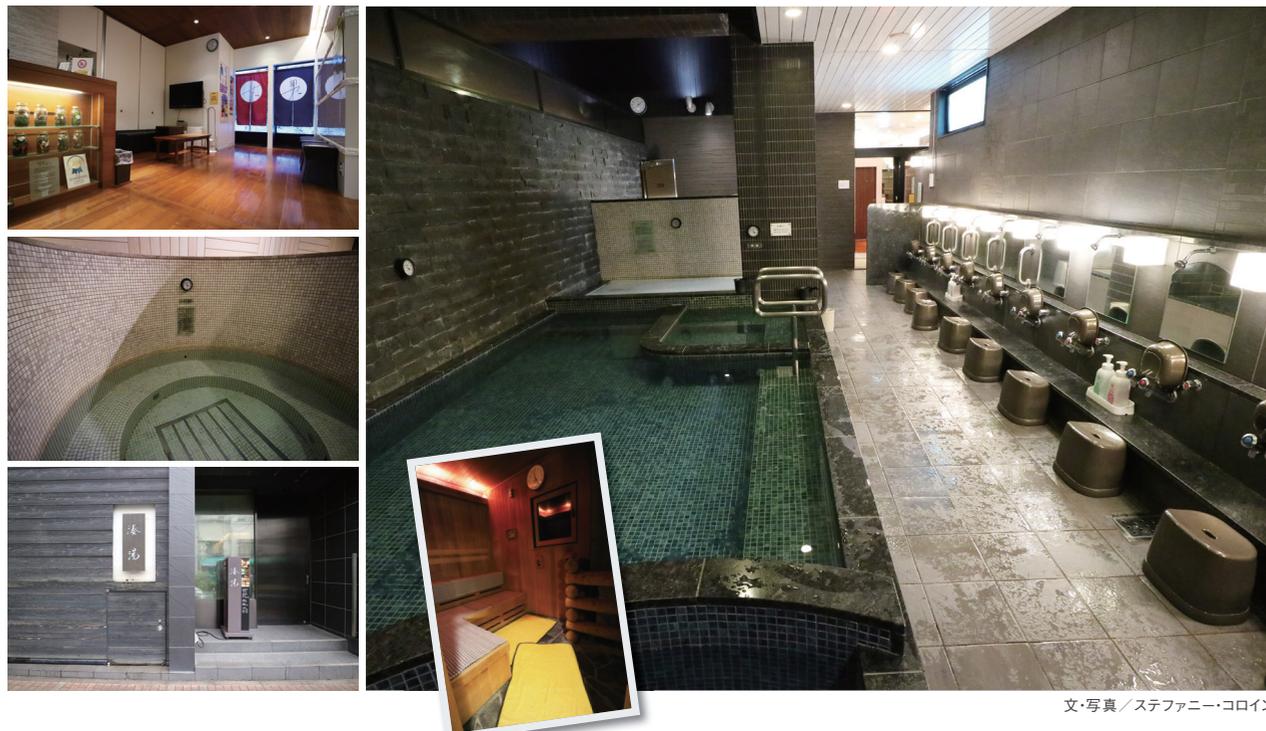
野菜やケーキサレに大満足
新富町の露地裏の名店!
サラダランチは塩味のケーキや丁寧な肉料理も付いてヘルシーかつ豊かな味わい。夜はハムやバテの「シャル盛り」や明石直送の刺盛り等、シェフの腕とこだわりが生んだ仏家庭料理をリーズナブルに堪能できます。

ピストロ ケイク
◎住所 / 中央区新富1-6-15 サニービル102
◎TEL / 03-6280-3611
◎営業時間 / 12:00~13:30 (LO)、18:00~22:30 (LO)
土、祝日は夜のみ
◎日定休

おすすめスポットをご紹介します!
まちかど展示館の皆さんから

日常に、銭湯という選択を！

最近では、若い人も銭湯に行く人が増えてきました。喫茶店で飲む1杯のコーヒーとほぼ変わらない値段で、銭湯という非日常の習慣を、生活に取り入れてみるのはいかがでしょう。さて、今回は八丁堀にある銭湯をご紹介します。



文・写真 / ステファニー・コロイン

【銀座・京橋エリア編】

2011年にリニューアルしたスタイリッシュな銭湯

「湊湯」

JR京葉線・日比谷線の「八丁堀」駅から徒歩約5分。オフィス街を歩いていると、高級な割烹料理店のような外観の銭湯「湊湯」があります。玄関を抜けてフロントに一步入ると、とても洗練された空間に驚きます。そして、フロントから浴室に入るためののれんをくぐると目の前には壁一面の幻想的な装飾が。光と泡のこの美しいアートは、「水」をイメージされています。「敷地が広くないからこそ、空間づくりにこだわって、浴室に至るまでの通路も楽しんで頂きたかった」そう嬉しそうにお話するのは3代目の岡村周明さん。銭湯業界に入る前はアパレル業界で接客のプロとして従事されていたと、洗練されたデザインにも納得です。

浴室は、クールな石造りのタイプと柔らかい木目調のタイプの2つ。男湯・女湯が週替わりで楽しむことができます。設備は白湯、電気風呂、ジェットバス、サウナ、水風呂、そしてシルク風呂（石造り）/ジャグジー（木目調）と豊富。それにも関わらず、狭さを全く感じさせない空間づくりは素晴らしいとしか言いようがありません。お湯も軟水なので、お肌に優しいのも嬉しいですね。ご主人の心配りが空間からにじみ出るこの銭湯は、仕事のあとの疲れをきつと癒してくれるでしょう。

湊湯（みなとゆ）

- ◎住所 / 中央区湊1-6-2 ◎TEL / 03-3551-0667
- ◎営業時間 / 15:00~24:30 (最終入場24:00)
※サウナ最終入場23:30 (ご利用料金は別途)
- ◎定休日 / 土曜
- ◎交通 / 日比谷線・JR八丁堀駅 B4番出口から徒歩5分
<http://www.minatoyu.jp/>



ステファニー・コロイン

銭湯ジャーナリスト / 銭湯大使 (日本銭湯文化協会公認)
南フランス出身。日本文学に興味を持ち留学で来日した際、初めて銭湯と出会う。現在は、銭湯文化を世界中に広めるためブログやインスタグラムで銭湯の情報を発信。日本全国の銭湯を巡り、テレビやラジオの出演も行う。これまでに行った銭湯は800軒以上。2018年夏に新刊「フランス女子の東京銭湯めぐり」(株式会社G.B.)を出版。
WEB:dokodemosento.com Instagram:@stephaniemelanie_



銀座・京橋エリアの 銭湯はほかにも



入船湯 (いりふねゆ)

オフィスビルの地下1階にある入船湯は平成2年に開業。お客様は近隣のお年寄りやファミリーはもちろん、ジョギングランナーの方も多いため。お風呂はちょっと熱めに設定された湯舟とジャグジーの2つ。ふらっと立ち寄るのにぴったりの、ごんまりと懐かしさを感じるお風呂屋さんです。

- ◎住所 / 中央区入船3-6-14
- ◎TEL / 03-3206-0335
- ◎営業時間 / 15:00~23:00
- ◎定休日 / 木曜
- ◎交通 / 有楽町線
新富町駅7番出口から徒歩5分
<http://www.268chuou.com/list/detail03.php>

次回をお楽しみに！

日本橋エリア

06 楊枝資料館

東京都中央区日本橋本町1-12-5 / 03-5542-1905
月～土曜日(祝日を除く) / 10:00～18:00

08 小津史料館

東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル / 03-3662-1184
月～土曜日(年末年始等を除く) / 10:00～18:00

10 小伝馬町牢屋敷展示館

東京都中央区日本橋小伝馬町5-19 十思スクエア別館内 /
03-3546-5346 (中央区区民部文化・生涯学習課内9:00～17:00)
年末年始等を除く毎日 / 9:00～20:00

12 ゆかた博物館

東京都中央区日本橋人形町3-4-7 / 03-3661-8859
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) / ①15:00～②16:00～(2部制・解説付)

14 染物展示館・虎の檻

東京都中央区日本橋浜町2-45-6 / 03-3666-5562
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～18:00(土曜のみ17:00)

16 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー

東京都中央区日本橋1-19-1 / 03-3278-6611
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 平日◎7:30～19:30 土曜◎7:30～13:30

18 兜町・茅場町まちかど展示館

東京都中央区日本橋兜町15-3 坂本町公園内 / 090-2465-4001(10:00～19:00)
通年 / 8:30～20:00

07 Daiichi Sankyo くすりミュージアム

東京都中央区日本橋本町3-5-1 / 03-6225-1133
火～日曜日・祝日・振替休日(年末年始等を除く) / 10:00～18:00

09 伊場仙浮世絵ミュージアム

東京都中央区日本橋小舟町4-1 / 03-3664-9261
年末年始を除く毎日 8:00～20:00(店舗は10:00～18:00) / 月～金曜日)

11 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館

東京都中央区日本橋大伝馬町2-16 / 03-3664-5671
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～17:00

13 箱崎町箱四町会神輿庫

東京都中央区日本橋箱崎町26-1 / 03-3667-5667(平日 11:00～16:00)
通年 / 8:00～21:00

15 江戸表具展示館

東京都中央区日本橋浜町2-48-7 / 03-3666-6494
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～18:00

17 聚玉文庫ギャラリー

東京都中央区日本橋2-7-1 / 03-3272-3801
通年(祝日・年末年始・盆休みを除く) / 10:00～18:30(土日は17:30まで)

月島エリア

19 佃まちかど展示館

東京都中央区佃1-2-10先 /
03-3546-5346 (中央区区民部文化・生涯学習課内9:00～17:00)
通年 / 常時開館

21 勝どき・豊海歴史資料展示館

東京都中央区勝どき1-9-8 月島第二児童公園内 /
03-3531-0092(11:00～16:00) 090-3529-3712(11:00～16:00)
毎月 第2土・日曜日 / 10:00～16:00

20 石川島資料館

東京都中央区佃1-11-8 ピアウエストスクエア1F / 03-5548-2571
水・土曜日(年末年始等を除く) /
10:00～12:00、13:00～17:00(入館は16:30まで)

22 ふるさと晴海資料展示館

東京都中央区晴海2-4 晴海臨海公園内 /
080-7723-3158(11:00～16:00)
通年 / 常時開館

まちかど展示館



江戸開府以来400年の歴史と伝統を誇る、
中央区に伝わる多様な文化資源をご紹介します。

中央区は江戸時代より、わが国の文化・商業・情報の中心として発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。この魅力を皆様に広く知っていただくため、地域の文化資源を「まちかど展示館」として整備し、開設しています。展示館の規模や展示方法はそれぞれですが、中央区が誇る文化の一端をかいまみることができます。中央区の“ちょっとすごい”をぜひ、お訪ねください。

新規認定展示館

A 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館

東京都中央区銀座8-7-18 / 03-3571-1715
月～土(祝日・年末年始等を除く) / 平日◎11:00～20:30 土曜◎12:00～19:00

B イチマス田源 呉服問屋ミュージアム

東京都中央区日本橋堀留町2-3-8 / 03-3661-9351
月～金(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～17:00

C 江戸東京組紐 龍工房体験展示館

東京都中央区日本橋富沢町4-11 / 03-3664-2031
月～金(祝日・年末年始等を除く)※要予約 / 11:00～16:00
※9月開設予定です。

D つづら学習館

東京都中央区日本橋人形町2-10-1 / 03-3668-6058
月～土(祝日・年末年始等を除く) / 10:00～17:00
※つづら制作のため入店できない場合があります

銀座・京橋エリア

01 江戸ほうき展示館

東京都中央区京橋3-9-8 / 03-3563-1771
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 10:00～19:00

02 足袋の博物館

東京都中央区新富2-2-1 / 03-3551-0896
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～17:00

03 ミズノプリンティングミュージアム

東京都中央区入船2-9-2 / 03-3551-7595
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く)※要予約 / 10:00～16:00

04 松竹大谷図書館

東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3F / 03-5550-1694
月～金曜日(祝日・年末年始・毎月最終木曜日等を除く) / 10:00～17:00

05 のれん・提灯・下絵の展示館

東京都中央区築地6-5-5 / 03-3541-3741
月～土曜日(祝日・年末年始・市場休業日等を除く) / 7:30～17:30

まちかど展示館MAP

- 01 江戸はうき展示館
- 02 足袋の博物館
- 03 ミスリソリソリミュージアム
- 04 松竹大谷図書館
- 05 のれん・提灯・下駄の展示館
- 06 楊枝資料館
- 07 Daichi Sanjyo くすりミュージアム
- 08 小津史料館
- 09 伊場仙浮世絵ミュージアム
- 10 小伝馬町作屋敷展示館
- 11 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館
- 12 ゆかた博物館
- 13 箱崎町箱四町会神輿庫
- 14 染物展示館・虎の檻
- 15 江戸表具展示館
- 16 三菱倉庫 江戸橋歴史展示ギャラリー
- 17 聚文文庫ギャラリー
- 18 兜町・茅場町まちかど展示館
- 19 佃まちかど展示館
- 20 石川島資料館
- 21 勝どき・豊海歴史資料展示館
- 22 ふるさと晴海資料展示館

新たに開設する展示館

- A 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館
- B イチノス田源 呉服問屋ミュージアム
- C 江戸東京組組 籠工房体験展示館 (開設準備中です)
- D つつら学習館

- ☒ 警察署および交番
- 📮 郵便局

